



【国際理解】

世界を知り、国際感覚を養おう

社会のグローバル化に伴い、英語の重要性は高まるばかりです。本校の英語教育では中高一貫校向けのテキストを用いた授業のほかネイティブ教師による生きた英会話の授業も実施するなど質・量ともにレベルの高い授業を展開しています。



高度な英語授業の実践

必要な情報を速く正確に読み取るための読解力や英作文での表現力を身に付けさせるために、特に中学段階では小テストを繰り返し実施。英語力の土台となる語彙・文法・構文の定着を図ります。



CALL教室

パソコンや映像機器を用いて英語学習ができる教室を設けています。



ネイティブによる英語授業

コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力が求められる時代、英語はコミュニケーションの手段として今後ますます重要になります。現在、中学1、2年生に対して週に1時間、クラスを分割してネイティブ教師による英会話の授業を行っています。



英語暗誦大会(中学1～3年)

英会話の授業では自分の意思を英語で伝達する姿勢を大切にしており、その成果が英語暗誦大会で発揮されます。クラスの代表が事前に暗記した文章を皆の前で暗誦、熱いスピーチ合戦が繰り広げられます。当日は国際学級の生徒たちが司会を務め、現地仕込みの英語によるモデルスピーチも披露します。



海外語学研修

8月の2週間、ホームステイもかねて海外語学研修を行っています。中学3年生と高校1年生の希望者が参加します。今年度もオーストラリアを予定しています。



国際学級 (中学1年～3年)

中学校には海外からの帰国生で編成される国際学級を設置。日常の学校生活の中で英会話が飛び交う帰国生徒たちの存在は一般学級の生徒たちにも大いに刺激になっています。

3年間は同じクラス

日本での学校生活になじみづらい帰国生。そんな不安を考慮して、国際学級は3年間同一クラス。行事や部活動は一般学級の生徒と行動を共にし、自然に学校生活になじめるように配慮しています。

難関大学への高い進学率

英語・国語・数学は習熟度に応じた分割授業を行い、学力の伸びが顕著な生徒には3年次に選抜学級へ移籍させるなど、更なる学力の伸長を講じることで、例年多数の生徒が難関大学現役合格を果たしています。

理解度・習熟度に応じた分割授業

育った環境が英語圏か否かによって英語力に大きな差を生じます。また日本語が不慣れな生徒もいます。そのため、国際学級では理解度に応じた分割授業や補習を行い、3年間で一般学級と同じ進度になるように指導しています。



互いの個性を理解し 尊重しあえる国際学級のメンバー

新しい学校に入学するときは誰もが緊張と不安を感じるかもしれませんが、国際学級のメンバーには、それらを吹き飛ばすほどのフレンドリーさがあります。

入学後、すぐに打ち解け、クラスの皆と友達になれます。なぜなら、クラスのメンバーは世界各国から集まっているため、それぞれ滞在していた国の文化への理解が深く、お互いの個性を理解・尊重することができるからです。

もちろん、一般学級の生徒とも日常生活や部活動を通じて仲良くなれます。このようにして国際学級だけでなく一般学級の生徒とも絆を深め、毎日楽しく、意欲に満ちた最高の日々を送ることができます。

学習面も充実していて、英語・国語・数学の授業は生徒の理解度によってクラス分けされ、自分のレベルに合った学習を進めることができます。

雰囲気よし、友達よし、学習よし——それが攻玉社の国際学級です。

